

講義

- 講義名：解析 B1
- 講義時間と教室：月曜日 2 時限 (10:30 ~ 12:00), 理学部 2255 教室
- 担当教官：辻井 正人 (つじい まさと)
- 担当教官の連絡先：(研究室) 理学部 3 号館 3509 号室 電話 642-2741
(電子メール) tsujii@math.kyushu-u.ac.jp
- 教科書：「複素関数入門」チャーチル, ブラウン著 (数学書房)
- 参考書：「複素解析」アールフォルス著 (現代数学社)

通常の板書による講義をします。講義についての情報を集めたページを

<http://www2.math.kyushu-u.ac.jp/~tsujii/KaisekiB1.html>

におきます (配布した演習問題等や講義ノートを掲載します。)

注意事項

- 授業は延長することがあります。その場合、演習の開始を遅らせることで対処します。
- オフィスアワーは特に設けません。演習の時間に質問をしてください。どうしても個人的に連絡を取りたい時は電話またはメールで連絡の上で研究室に来てください。

演習

- 講義名：解析 B1 演習,
- 演習は講義のクラスを 2 つに分けます。学生番号が偶数の人は紅組, 奇数の人は白組とします。
- 講義時間と教室：月曜日 (13:00 ~ 15:30, 終了時間に注意), 理学部 (紅) 2259, (白) 2255 教室
- 担当教官：佐野, 辻井 (学期途中で交代して担当します。)
- TA (Teaching Asisitant) 栗林, 山下

演習は次のように進めます。

(1) 演習の目的は、演習問題という題材を通して、

- 講義内容についての理解を深める。
- 数学について議論する (発表する, 質問する, 答える, ...) ことになれる。

ですから、単に「答えがわかった」、「できた」で終わることなく、「ポイントとなっているのはどこか」「問題を少しかえるとどうなるか」などを考えてみてください。

(2) 問題は講義時間に配ります。問題のうち易しいものは講義の後の演習の時間で解けると思います。ただ、難しい問題 (特に † 印がついているもの) はその場で解くのは難しいので、翌週までに考えてきてください (実はこれも演習の重要な部分です。) 問題は誰も解いていない限りは問題は有効です。

- (3) 演習の最初に30分程度の時間をとります。その後、できた人に黒板で解答をしてもらいます（教官にではなく、他の学生にわかりやすいように説明してください。他の人は良く聞くように。）解答について、必要に応じて学生や教官から質問して解答者に説明を求めます。これを繰り返します。
- (4) 最後に小テストをします。できた人から前にいる教官またはTAに持っていき、答案を採点してもらいます。合格すればそれで終わりです。そうでない場合には再度書き直して提出してください。小テストの答案の提出で出席をつけます。

成績

[期末テストの成績] (50%) と [演習での解答+ 小テストの提出回数 (= 出席回数)] (50%)。ただし、演習で半期の間に少なくとも一度は前に出て黒板に解答することを単位の条件とします。